

一般質問



一時預かりを行う子育てプラザ館(住吉町)

大豆生田 春美 議員

子供一時預かり事業について

質問(大豆生田春美議員)

親が体調不良で病院へ行くときや、急用で子供と一緒に連れていけない場合など、子供を預けなくてはならないときに、子育てプラザ館で当日の一時預かりを受け入れることはできないのか伺います。

答弁(市長)

子育てプラザ館の一時預かり事業は、保護者が利用日の前日までに申し込み、これを受けて保育士2名を手配する方法をとっています。

当日申し込みは、緊急の場合で、かつ受け入れ定員に余裕があるときには申し込みができることになっており、緊急の場合という条件つきであります。当日でも一時預かりを受け入れてはなりません。

また、保護者のさまざまな事情により緊急に児童を一時的に預けたいという要望には、子育てプラザ館で実施している一時預かり以外に、ファミリースポーツセンターの預かりサポートもご利用できます。これは事

前に会員登録が必要であり、一度登録をしてサポーターとの関係をつくり、いざというときに活用できるものです。さらに、今後のより充実した事業推進として、平成25年12月にオープン予定の中心市街地再開発ビルに整備される子ども未来館に現在の子育てプラザ館の一時預かり事業を移行することとなっております。この施設では常時2名の保育士による一時預かり事業を実施することとなっておりますので、常時受け入れが可能となり、保護者の利用の幅が広がり、不安の解消につながるものと考えます。

菊池 久光 議員

八溝山周辺地域 定住自立圏構想について

質問(菊池久光議員)

定住自立圏形成協定締結の準備段階に入り、協定締結後は定住自立圏共生ビジョンを策定することになると思われるが、現時点で圏域全体の将来像を市長はどのように描くのか、定住自立圏の将来像について伺います。

答弁(市長)

定住自立圏構想は、圏域内の住民が安心して暮らせる持続可能な地域を形成し、大都市圏への人口流出等による地方圏の人口減

少を食い止める施策として総務省が推進しているものであります。

本圏域は多種多様な課題を抱えた圏域ですが、大田原市を中心とした定住自立圏を形づくることを優先し、連携できる事項から順に取り組んでいくことを重点に置いて、圏域内各市町の連携と協力関係をさらに強め、定住自立圏形成協定の締結及び圏域全体の定住自立圏共生ビジョンの策定を着実に進めていきます。

大田原市としても、総合的な地域都市を目指し、本圏域が結束し、地域づくりの可能性を最大限に引き出すことができるよう、大田原市が中心的な役割を果たし、着実に歩んでいきたいと考えています。具体的に、ドクターカーの充実など生活機能の強化については、那須赤十字病院と連携し、中心市としてリーダーシップを発揮していきます。

その他、個別の自治体が単独では解決が難しい課題を出し合い、一対一の協定を積み重ね、やがてそれらを体系化し、定住自立圏共生ビジョンとしてまとめ上げていくという構想を持っています。



議会初日に津久井市長により中心市宣言が行われました